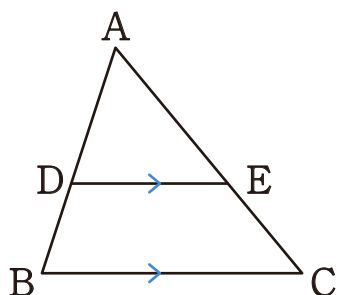


三角形と比の定理

三角形の1辺に平行な線分をひいたとき、次の定理が成り立つ。

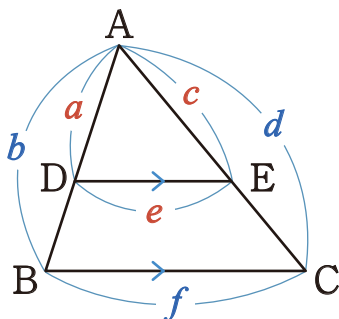
三角形と比の定理

△ABCで、辺AB，辺AC上の点をそれぞれD，Eとする。
ここで、DE//BCならば、次の2つのことが成り立つ。



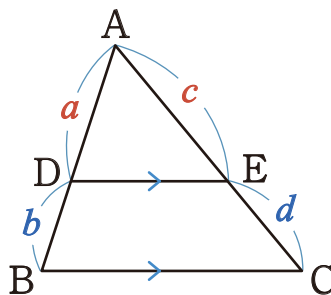
1. DE//BCならば、

$$a:b = c:d = e:f$$

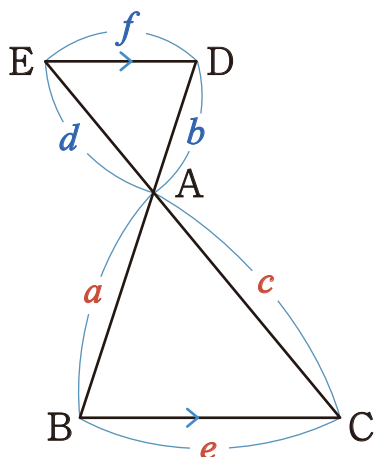


2. DE//BCならば、

$$a:b = c:d$$



三角形と比の定理は、下の図のように辺ABと辺ACをそれぞれ延長した直線上でも成り立つ。



ED//BCならば、

$$a:b = c:d = e:f$$